

JR川越線荒川橋梁の複線化仕様での架け替えに関する進捗について

1月28日に開催された「第5回JR川越線荒川橋りょうの複線化仕様での架換えに関する協議会」の中で、複線化の方策について案が示され、それぞれの案を5つの観点から分析・検討がなされました。

案1(1)が最も総合評価が高いという結果が示されました。このことを踏まえ、予算特別委員会の中で、山根から、「複線化の実現には、利用者数を増やすためのまちづくりの取組が非常に重要である。」と問題提起したところ、「色々な機会を通じてJR東日本に働きかけ、まちづくりと一緒に進めてまいりたい。」との答弁がなされました。



概要	【案1】		【案2】	【案3】
		(1) 複線化時には、現在線位置に単線構造の橋りょうを架ける。	(2) 複線化時には、既存の橋りょうを補強し活用する。	複線化時には、現在線とは別の位置に単線構造の橋りょうを架ける。
難易度 工期	☆☆	☆	☆☆	☆☆☆
用地買収 範囲	☆☆☆	☆☆☆	☆	☆☆☆
複線化 コスト	☆☆	☆	☆	☆☆☆
時期・設計 自由度	☆☆	☆☆	☆☆☆	☆
調整池整備 工期への影響	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆
総合評価	(1) 最新の技術基準に沿った安全性の高い長寿命な橋りょうの建設が可能	(2) 2本の橋りょうを架けるためコストは高いが、調整池整備への影響はない	建設年度当を考慮すると補強量は多く、河積阻害率も悪化。河川管理上の制約条件もある。	複線化時の工期における優位性は高いが、調整池整備事業へ影響を与える可能性がある。

※調整池整備：国の事業。荒川第二・三調整池整備事業。

(この整備があるために荒川橋梁の架換えが必要となった。山根は、この架換えを契機に複線化を求めてきた。)



埼玉県議会議員

山根ふみ子

県政
レポート

令和4年
春号

【発行】埼玉民主フォーラム川越支部山根ふみ子事務所 ☎:049-257-6682 ✉:mail@y-fumiko.com

令和4年度予算編成に向けて要望書を提出

大野知事与党会派の立場から令和4年度予算編成に向けて要望書を提出しました。



2月定例議会

令和4年度当初予算案

【一般会計】

2兆 2,284億 5,900万円

(全会計合計 3兆6,455億5,320万1千円)

前年度比+5.1%

前年度比+4.1%

○新型コロナウイルス感染症対策 1,799億1,373万円

◆検査・医療提供体制等の確保 1,389億3,665万円

- ・入院医療機関への協力金
- ・医療従事者に対する手当の継続
- ・感染拡大傾向時の知事の要請に基づく無料検査の実施

◆フォローアップ体制や継承者等の療養体制確保 310億681万円

- ・宿泊療養施設の確保
- ・自宅療養者の健康観察体制の拡充(保健所、宿泊、自宅療養者支援センター等)

◆ワクチン接種の推進 99億7,027万円

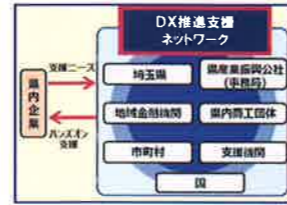
- ・接種医療機関等への財政支援
- ・埼玉県ワクチン接種センターの運営 接種会場を県内4か所に拡充(図)



○中小企業におけるDXの推進 3億8,693万円

◆デジタル人材の育成・確保支援

- ・DXの推進役となる人材を対象としたDX研修講座の開催経費及び受講料を助成
- ・県内中小企業のニーズに対応したデジタル人材育成のための在職者訓練の実施
- ・デジタル人材の人材紹介手数料を助成し、即戦力となる人材の確保を支援



○公金収納のキャッシュレス化の推進 1億9,537万円

- ・電子申請システムにクレジットカード決済機能を追加
- ・放置違反金の納付にスマートフォン決済アプリを追加
- ・全ての税目の納付書に統一QRコードを印刷するためのシステム改修



◆エッセンシャルワーカーの処遇改善 135億5,639万円

- ・看護師、保育士、幼稚園教諭、介護施設や障害福祉施設職員等の収入を引き上げるための支援

看護師	保育士、幼稚園教諭、介護施設や障害福祉施設職員等
収入を1%程度引き上げ 10月以降は診療報酬の改定により3%程度	収入を3%程度引き上げ

○防災関連公共事業の推進 181億9,513万円

◆埼玉版流域治水対策の推進

- ・あらゆる関係者との協働により流域治水を推進(河道、調節池や砂防関係施設の整備、水害リスク情報の充実等)

◆無電柱化の推進

- ・緊急輸送道路等における無電柱化を推進

◆ため池の防災・減災対策の推進

- ・耐震補強工事の推進、市町村への支援の拡充



○多様なニーズに対応した教育の推進

◆特別支援学校の整備 48億9,513万円

- ・児童生徒増加に対応するため特別支援学校を整備

事業内容	設置場所(開校等予定年度)	設置規模
新校設置	県東部地域特別支援学校(仮称)(R5) ※旧岩槻特別支援学校跡地	200人
高校内分校の設置	狭山清陵・白岡・鳩ヶ谷高校内(R5) 新大宮商業・新座柳瀬・三郷北高校内(R6)	144人 144人
既存校の増築	川越特別支援学校・三郷特別支援学校(R5) 新川口特別支援学校(R8・R10)	144人 174人

◆いじめ・不登校防止対策 9億7,825万円

- ・スクールカウンセラー等の配置
- ・スクールソーシャルワーカーの配置拡充
- ・スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーによるオンライン相談の導入

◆学習環境のデジタル化 7億5,702万円

- ・新たな指導用端末等の整備
- ・「GIGAスクール運営支援センター」の開設

○LGBTへの支援 2,418万円

◆県民・企業の理解促進

- ・企業向けオンライン研修の実施、LGBTQ指標制度の導入など

◆性の多様性を尊重した教育の推進

- ・性的指向や性自認に悩む高校生を対象としたオンラインサロンと相談会の実施
- ・性の多様性の理解促進を目的とした保護者向け動画の作成



○一部新規 農大跡地等の活用推進 91億8,646万円

◆農大跡地南側産業用地の売却

- ・先端産業・次世代産業などの成長産業の集積のため、立地企業の選定及び売却

